

豊潤の里 たより

地域における「二つの慶事」と「二つの懸念」

木谷自治協議会 会長 山住 光治

皆様にはお健やかに新たな年をお迎えのこととお慶び申し上げます。年頭のごあいさつとして、「二つの慶事」と「二つの懸念」についてお話ししたいと思います。

まず、近年の木谷地域の「二つの慶事」についてです。一つ目は、令和5年(2023)に木谷で初めての市の文化財として、赤崎地区の二馬手塩田跡の「樋

の輪」が史跡に指定されたことです。江戸時代の塩づくりの遺構と史料が良好な状態で残っていることが指定理由でした。



二つ目は、令和6年(2024)の木谷小学校創立150周年を記念した行事と、昨年末の記念誌の発行です。明治6年の開校から今日まで、木谷地域とともに歩んできた小学校の歴史を振り返ることで、これからの地域と学校



の関係を改めて考える良い機会となりました。

次は「二つの懸念」についてです。最初は「木谷自治協議会の若返り」についてです。私は木谷自治協議会の役員になって9年目を迎えました。その間、身にしみて感じたのは、組織の若返りを図ろうにも「自治協を組織する役員の方々の後継者がいない」ということです。定年が65歳となっている今の社会、現役の方が参加しにくいのは理解できますが、「地域の若い皆様、私たちと一緒に地域貢献をしてみませんか。」と、声を大にして呼びかけてみたいのです。



次に、「産廃処分場建設反対運動」についてです。昨年末から安芸津特産の牡蠣が壊滅的な被害を受け、漁業従事者の方々の苦しい現状が報道されています。私がい

つも通っていた牡蠣業者さんの店舗は年末に閉じておられ、牡蠣を買い求めることができませんでした。年が変わった今、漁業関係者の方々は、海水の調査や養殖方法の改善を行うなど、未来に向けて取り組まれていることも報道されています。牡蠣もよく育ち景観も素晴らしい「安芸津の海」を次世代に引き継ぐためにも、今後懸念される環境破壊や風評被害は絶対にあってはならないのです。私たちは今一度、「建設反対に向けての決意」を強く持たなければならないと思っています。

地域の皆様のご支援、ご協力を今後ともお願いしまして、年頭のごあいさつといたします。

平井弘光氏が故郷を想い絵画を寄贈



重松神社大名行列(130 cm ×162 cm) 油彩



11月23日、木谷出身で広島市在住の画家平井弘光さん(旧姓荻原)が、重松神社に絵画「重松神社大名行列」を寄贈。平井さんにとって幼少期の遊び場でもあった重松神社の昭和20年代の大名行列を描いたもの。平井さんは同様に慶寿院と妙専寺にも寄贈されました。

創立150周年記念事業で児童図書を贈呈



12月16日、木谷小学校の全児童と関係者出席のもと、56種185冊(50万円相当)の児童図書が、木谷小学校創立150周年記念事業実行委員会の有田隆則会長から贈呈されました。

地域に感謝、「郷家ちゃんぶる落語会」



1月10日夕方、郷会館が地域の人たち40名の笑い声で溢れました。郷地区出身で在住の田尾利光さんが、お世話になっている地域に感謝の気持ちを届けたいと「郷家ちゃんぶる落語会」を開催。



田尾さんは学生時代に落語研究会で活躍、社会人になっても芸名・郷家ちゃんぶるとして福祉施設などで披露してきたそうです。演目は「酒の粕」「桃太郎」「池田の猪買い」でした。今回は同じ郷地区在住の飛家佳子さん(芸名・光家童風)が友情出演。紙芝居「おっぱい山」では独特の語り口で来場者を魅了しました。

地域センター
主催講座①

子ども料理教室 ～ぶちうまな昼食～



12月24日、豪華な昼食を前に、目を輝かせ待ちきれない様子で座っている10人の子どもたち。「いただきます」の直後、「ぶちうまっ!!」の声。前に並んだ料理は、赤ジャガ

入りのポトフ、ピラフ、そしてイチゴショートケーキ。どの子も満足した顔で、自作の料理に舌鼓を打っていました。木村先生と平岡先生のお陰で、「ぶちうまい料理」を作ることができ、クリスマスイブの思い出の一コマを飾ることができました。

地域センター
主催講座②

ミニ門松づくり ～自作門松で迎春～



12月26日、ミニ門松づくりの講座に4名が参加。水野さんたちの指導と協力を得ながら、ミニ門松の手作りに挑みました。長い青竹を断面が楕円になるよう斜めに切り、それを3

本まとめて縛り、事前に準備された竹の筒に挿し、松・梅・南天を添えて出来上がり。なかには葉ボタンを飾り、写真のような見事な門松を完成させた参加者もいました。

火 災 に 注 意 ！

テレビで火災のニュースがよく映しだされます。1月9日(金)の中國新聞の記事では、住宅火災で亡くなられた方の7割が65歳以上の高齢者だそうです。

※住宅火災で特に気を付けること！

- たばこの始末に注意する。寝たばこは絶対しない。
- ストーブのそばで洗濯物を干かしたりしない。
- 料理を作っている時、ガスコンロから離れない。
- コンセントの周りにほこりをためない。

※山林火災にも気を付けましょう！

- 空気が乾燥している。
- 台風並みの風が吹くことがある。
- 枯葉や枯草が多く燃えやすい。
- 万が一の時、消火しづらい。

ついうっかりが一番いけません。火を使うときは、細心の注意を！

火災は命まで奪います!!

部会活動紹介

福祉生活部会



11/14 木谷地区社協 蛟龍、表彰される
木谷地区社会福祉協議会 蛟龍が広島県社協会長から団体として表彰されました。今回の表彰は2度目。高齢者・児童・幼児・障がい者などとのふれあいを通して、健康で明るく安心して暮らせる地域づくりの推進が評価されました。

＜木谷地区社協 蛟龍＞



12/10 おかわり続出 ご褒美はおいしい豚汁
持久走で一生懸命走ったご褒美はおいしい豚汁。校舎沿いに腰掛け、地元産の野菜がたっぷり入った豚汁を味わいました。子どもたちが書いたお礼の文集には、応援に励まされ新記録が出たこと、嫌いだった野菜も食べることができたことなどが綴られていました。

＜木谷地区社協 蛟龍＞



12/11 プランターの土の入替え
木谷小では児童一人が一つのプランターを担当して花を育て、学校を花で飾っています。当日は学校関係者を含む6名で、プランターに肥料を混ぜた土を盛り、校舎の前に並べました。

＜木谷地区社協 蛟龍＞



12/18 「おたのしみかい」で園児と交流
昨年までは、サンタとトナカイがプレゼントを持って訪問した「おたのしみかい」。今年はクリスマス会を兼ねた交流会に変わり、プレゼントの交換やダンスで楽しい時間を過ごしました。

＜木谷地区社協 蛟龍＞

木谷の人口（住民基本台帳）	世帯数	人口	男	女
令和7年(2025)12月末現在	656	1363	664	699
令和6年(2024)12月末との比較	－8	－28	－12	－16